

主要施策名:(1)道路交通体系の整備

事務事業本数:7

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
④便利で快適な都市づくり	(1)道路交通体系の整備	(1)広域交通ネットワークの整備	411-1	道路改良推進事業	土木課
		(2)生活道路網の整備	412-1	道路維持事業	土木課
			412-2	道路メンテナンスサイクル事業(舗装)	土木課
			412-3	道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)	土木課
			412-4	道路新設改良事業	土木課
			412-5	橋りょうメンテナンスサイクル事業	土木課
		(1)広域交通ネットワークの整備	411-3	社会資本整備総合交付金事業(道路)	都市整備課



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 市道認定に関する業務	市道の認定及び廃止等の処理を行う。	議案提出回数	回	1	1	1	1
② 期成会等負担金支出業務	負担金を支出することにより業務の遂行を図る。	負担金支出回数	回	6	6	6	6
③ 道路台帳修正業務委託事業	道路台帳の修正業務を行う。	市道修正路線件数	件	90	102	87	100

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(道路台帳修正延長)	10	10	9
投入コスト合計(千円)	26,118	12,262	10,714	25,466
対象1単位あたりのコスト(千円)	2,612	1,226	1,190	2,830
コスト評価(対前年比)	***	213.00% (↑)	103.00% (↑)	42.07% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 道路台帳修正実施率	道路台帳の修正延長/市道認定(廃止)延長	%	100	100	100	100
2			100	100	100	
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(市が行う事業のため) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	道路台帳修正業務委託事業については、新設・改良された部分に関して台帳の修正をおこなった。また、期成会活動については、国道等の早期整備や生活道路の改善に必要な事業のため継続した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も、道路台帳修正業務委託事業については、新設・改良された部分に関して台帳の修正をおこなっていく。また、期成会活動については、国道等の早期整備や生活道路の改善に必要な事業のため継続していく。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	これからもインフラ事業の実現・促進のため、各期成会を通じ関係機関へ積極的な働きかけを展開していく。	評価責任者 田代史典
----------------------	---	---------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 市道維持修繕事業	劣化等した道路の修繕を行う。	道路修繕箇所	箇所	168	169	172	175
② 市道除草業務委託事業	委託により道路の除草作業を行う。	市道除草委託件数	件	13	13	15	13
③ 市道維持管理借上料事業	生活道路を整備するものに対し、機械借上料を支給する	機械借上件数	件	115	160	236	240

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象( 市民 )	66850	66319	65817
投入コスト合計(千円)	396,850	360,710	263,567	280,480
対象1単位あたりのコスト(千円)	6	5	4	4
コスト評価(対前年比)	***	109.15% (↑)	135.82% (↑)	93.07% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 市道除草業務委託面積	除草を行った面積	m <sup>2</sup>	33000 357067	357067 358316	358316 362261	370077
2 未登記関係処理件数	未登記関係の処理件数(筆数)	件	8 22	25 59	34 32	40
* 成果未達成時の理由		未登記関係の課題等もあり、目標値には届かなかった。				

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 4.21 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 市が行う事業であるため ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	要望箇所については、計画的に修繕・工事をおこなった。未登記関係の課題等もある中ではあったが、ほぼ計画的に進めることができた。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容 【27】	今後も、引き続き要望箇所の修繕を計画的におこなっていく。未登記についても計画的に進められるよう努めていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		
総合判定	C		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	評価責任者
今後は業務の改善を図り、効率的なメンテナンスサイクルで財政負担の軽減と修繕を行っていく。	田代史典



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 道路メンテナンスサイクル(舗装)措置1	損傷の進行が早い道路に対し交付金事業を活用し舗装工事を行う。	工事発注件数	件	***	***	8	20
② 道路メンテナンスサイクル(舗装)措置2	損傷の進行が早い道路に対し市単独費で舗装工事及び側溝改良工事を行う。	工事発注件数	件	***	***	22	22
③ 道路メンテナンスサイクル(舗装)点検・診断	交付金事業を活用して舗装工事を行うために必須条件となる業務委託を行う。	業務委託発注数	件	***	***	2	3

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算		
	対象( 施工延長 )	0	0	5544	6150		
	投入コスト合計(千円)	0	0	233,642	338,513		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	42	55		
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	76.56%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 舗装整備延長	整備した市道の路線延長	m	***	***	4820	5320
			***	***	4967	
2 側溝改良整備延長	側溝改良した市道の路線数	m	***	***	660	830
			***	***	577	

\* 成果未達成時の理由 舗装工事を優先に実施したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
公平性	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
公平性	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	c
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	c
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 道路法に定められている。 )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	交付金事業及び公共施設等適正管理推進事業債を活用し事業実施が出来た。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了	
次年度への予算反映(連動) 【27】	引き続き、市道の長寿命化修繕計画及び地区の要望に対し計画的な舗装工事を進めていく。			
	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)			
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	交付金や公適債を活用し、効率的なメンテナンスサイクルで、財政負担の縮減や修繕を行っていく。	評価責任者 田代 史典
-------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)計画	市内に公共施設(道路照明施設・道路標識)に対しての長寿命化修繕計画を計画する。	業務委託発注数	件	***	***	2	0
② 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)点検・診断	片持ち式(道路照明施設 245基・道路標識62基)、路側式(標識364基)に対し定期点検を行う。	業務委託発注件数	件	***	***	1	0
③ 道路メンテナンスサイクル事業(小規模道路附属物)記録	小規模附属物(道路照明施設、道路標識)の補修・更新に対し管理台帳の更新を行う。	更新施設の登録件数	個所	***	***	238	7

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	対象( 市民 )	H30年度決算		R01年度決算		R02年度決算		R03年度予算	
		0	0	0	0	65817	65189		
	投入コスト合計(千円)	0	0	0	0	17,160	4,594		
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0	0	0		
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	369.97%	(↑)	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 小規模附属物(道路照明施設、道路標識)の補修・更新件数	補修・更新した個所数	個所	***	***	***	2
2			***	***	***	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 道路法に定められている。 ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	小規模附属物長寿命化修繕計画により、メンテナンスサイクル(点検→診断→記録)を実施した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今度、小規模附属物(道路照明施設、道路標識)の長寿命化計画書に準じ適正な維持管理を行う。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今年度、小規模附属物長寿命化修繕計画を策定した。今後は、この計画に基づき、財政負担の軽減を図りながら効率的なメンテナンスサイクルを行っていく。	評価責任者 田代 史典
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 市道新設改良設計委託事業	現道の測量・計画路線の設計を委託する。	委託発注件数	件	31	15	3	4
② 市道新設改良事業	道路改良工事を発注する。	工事発注箇所数	箇所	28	17	10	14
③ 市道新設改良工事用地購入事業	計画路線に伴う用地の買収を行う。	用地買収件数	件	60	25	34	25

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(整備路線数)	28	17	10	14
投入コスト合計(千円)	407,782	304,423	273,591	213,743
対象1単位あたりのコスト(千円)	14,564	17,907	27,359	15,267
コスト評価(対前年比)	***	81.33% (↓)	65.45% (↓)	179.20% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 整備路線数	整備した市道の路線数	箇所	28	22	20	14
2			28	17	10	
* 成果未達成時の理由			用地買収等の理解が得られず、路線数が減少した。			

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	道路拡幅を行ったことにより、地域住民及び道路利用者の利便性を高め、安心・安全に通行できる道路整備を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後は、道路拡幅及び要望書の見直しを行い、予算内で安心・安全に通行できる道路整備を行っていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	限られた予算の有効な活用を行い、インフラ施設の計画的な整備を努める。	評価責任者 田代 史典
----------------------	------------------------------------	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 橋梁補修及び補強工事事業(措置)	診断Ⅲ(早期措置段階)以上の橋梁に対して、診断から5年以内に措置を完了する。	診断Ⅲ以上の橋梁数に対する措置完了橋梁数	橋	30/15	40/8	42/2	44/2
② 橋梁補修設計及び調査業務委託(措置)	交付金を活用して橋梁補修・補強工事を行うために必須条件となる設計業務委託を行うものである。	業務委託発注数	本	7	1	1	1
③ 点検・診断事業	省令告示により義務化された近接目視による点検を行い診断する業務	全体橋梁数における点検診断の進捗率	%	100/100	21/20	41/40	62/60

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(市道橋の管理橋梁数)	833	833	833
投入コスト合計(千円)	185,521	167,423	150,149	149,191
対象1単位あたりのコスト(千円)	223	201	180	179
コスト評価(対前年比)	***	110.81%	(↑) 111.50%	(↑) 100.52%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 毎年国が道路メンテナンス年報として公表している修繕着手率(%)	修繕着手率は診断Ⅲ以上の橋について、補修設計の着手も含めて着手しているかの指標	%	63	80	100	100
2 点検により早期措置段階と診断された橋梁の措置件数	診断Ⅲ(早期措置段階)以上の劣化橋梁に対して、一般的なレベルの措置が完了した橋梁数	橋	15	8	2	2
* 成果未達成時の理由			30	40	42	

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者の設定方法の問題、および、徴収に対する法的審査が必要である。)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	第3回インフラメンテナンス大賞に続き、本市の橋梁メンテナンスの取組みが土木学会の土木学会賞の論文賞を受賞し、さらには、土木学会の建設マネジメント委員会より、グット・プラクティス賞を受賞した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	全国的な先進事例として評価を得ている本事業は、一般的に参考とする専門示方書の範囲以上の先進的な研究や技術や手法を実装している。この実状は本来専門有識者の業務範囲に該当するため、本事業の評価および分析を、専門知識を有する有識者と長期にわたり検証する必要がある。同様に、コスト縮減においても、工学的な観点からの精査、および評価を得る必要が残っており、喫緊の課題である。このような検証こそが地域住民へのアカンタビリティの責務である。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	第3回インフラメンテナンス大賞に続き土木学会からも受賞した。全国的に高い評価を得ており、今後もトップランナーとしてこの取り組みを継続していく。	評価責任者 田代 史典
----------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会資本整備総合交付金事業(道路)		所管課 【2】	都市整備課
			作成者(担当者)	中川英昭
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④便利で快適な都市づくり		
	主要施策(節)	(1)道路交通体系の整備		
	施策区分	(1)広域交通ネットワークの整備		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 H17～H32 年度予定 : 金額 4,444,590 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 道路法、土地収用法、河川法、鉄道法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 社会資本整備総合交付金、国土強靱化計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 8 項 2 目 3 細目 18

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市は、東西方向を横断する多様な道路を有しているが南北方向を縦断するアクセス道路に乏しい。中心市街地へのアクセス道路や物流・観光の基幹道路、さらに大規模災害時の避難路、緊急輸送路としての道路網の整備が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	道路利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	各拠点をつなぐ、それぞれの地域の実情に沿った道路の整備を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】    【 年度から】    【 H17 年度～ R7 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【    】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【    】		
事務事業の具体的内容 【14】	・【岱明玉名線】県道長洲玉名線からJRを高架し旧国道208号までの区間の道路整備を行う。L=1100m、W=14.5m ・【河崎迫間2号線】県道玉名立花線と県道稲佐津留玉名線を接続する区間の道路拡幅を行う。L=615m、W=11m	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(6)本 ① 岱明玉名線道路整備事業(補助) ② 岱明玉名線道路整備事業(単独) ③ 岱明玉名線道路整備事業(補助)(R1線)

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	104,262	105,672	248,986	25,414	1,419,950
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	299,500	170,900	311,800	70,300	2,138,569
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	25,710	38,750	13,490	5,563	250,483
		【16】 小計	429,472	315,322	574,276	101,277	3,809,002
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職人 員 の 費	職員人工数	1.60	1.70	1.60	1.60	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
会計年度任用職員人工数				0.00	0.00		
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
	【17】 小計	9,434	9,309	8,762	8,795		
合計		438,906	324,631	583,038	110,072		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 岱明玉名線道路整備事業(補助)	本線、国道、県道、JR橋等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	0	—
② 岱明玉名線道路整備事業(単独)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	0	—
③ 岱明玉名線道路整備事業(補助)(R1線)	本線等の工事を行う。	整備延長	m	0	0	0	—

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(整備延長の合計)	429	384	470
投入コスト合計(千円)	438,906	324,631	583,038	110,072
対象1単位あたりのコスト(千円)	1,023	845	1,241	254
コスト評価(対前年比)	***	121.02% (↑)	68.15% (↓)	489.12% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 岱明玉名線の整備率	計画整備率(事業費ベース)	%	80.0	90.4	100	100
			78.9	80.3	97.3	
2						

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由( )	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	計画に従い、岱明玉名線の整備を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	都市計画道路「岱明玉名線」は、令和3年度5月末に完了済み。細事業のうち残りは、河崎迫間2号線(L=615m)であるが、令和元年度に熊本県議会で計画区間に藤崎台球場の誘致が持ち上がったため休止している。今後の状況次第では、取り組む場合もあるので現状のまま継続とする。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	都市計画道路「岱明玉名線」は令和3年5月24日で開通済。「河崎迫間2号線」は今後取り組む可能性があるため現状のまま継続する。	評価責任者 中尾賢治
----------------------	--	---------------